

東鳴子温泉活性化プロジェクト班

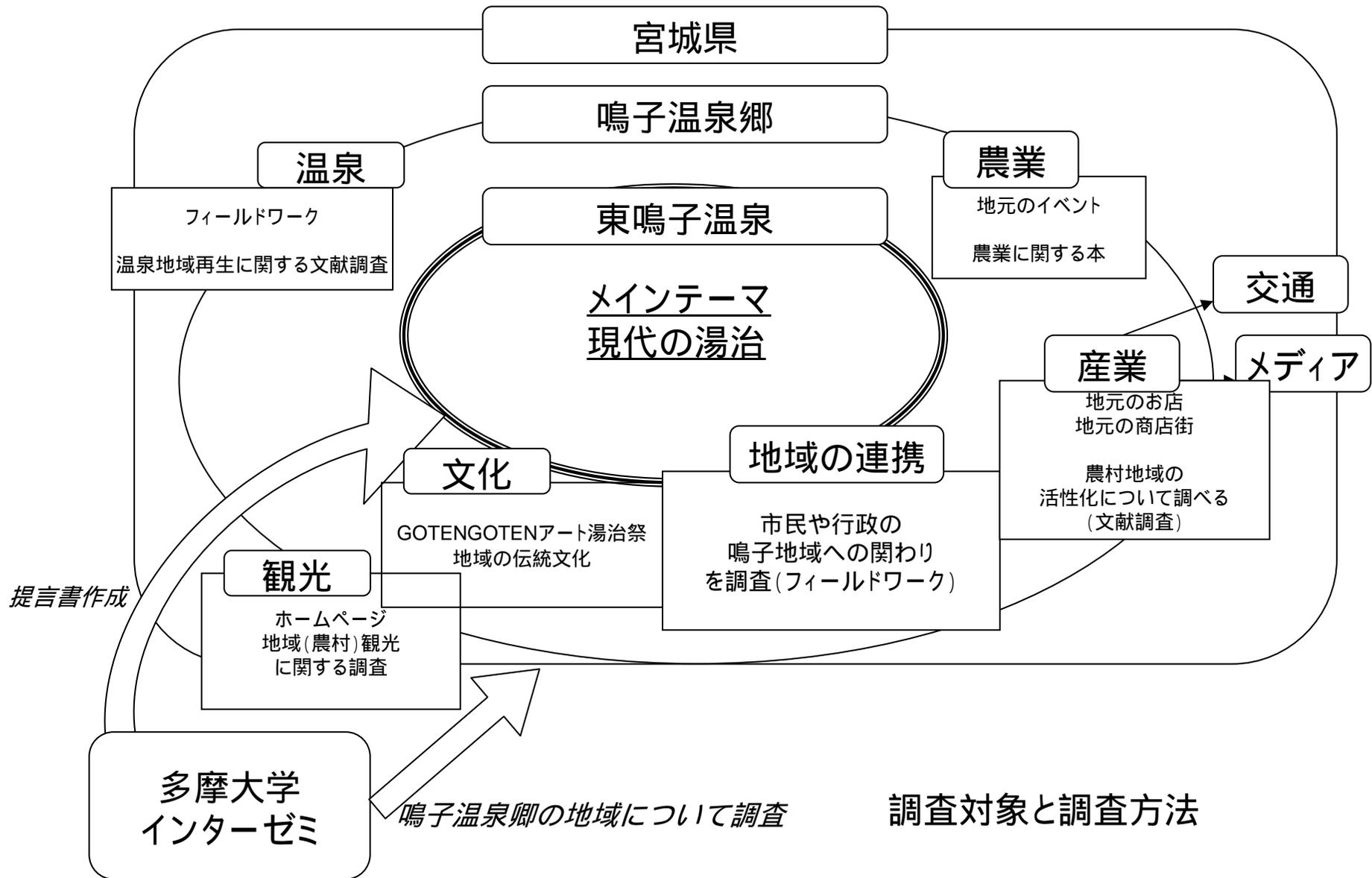
～ 8月20日前期最終発表～



阿部剛平 宮城和也 山本信子

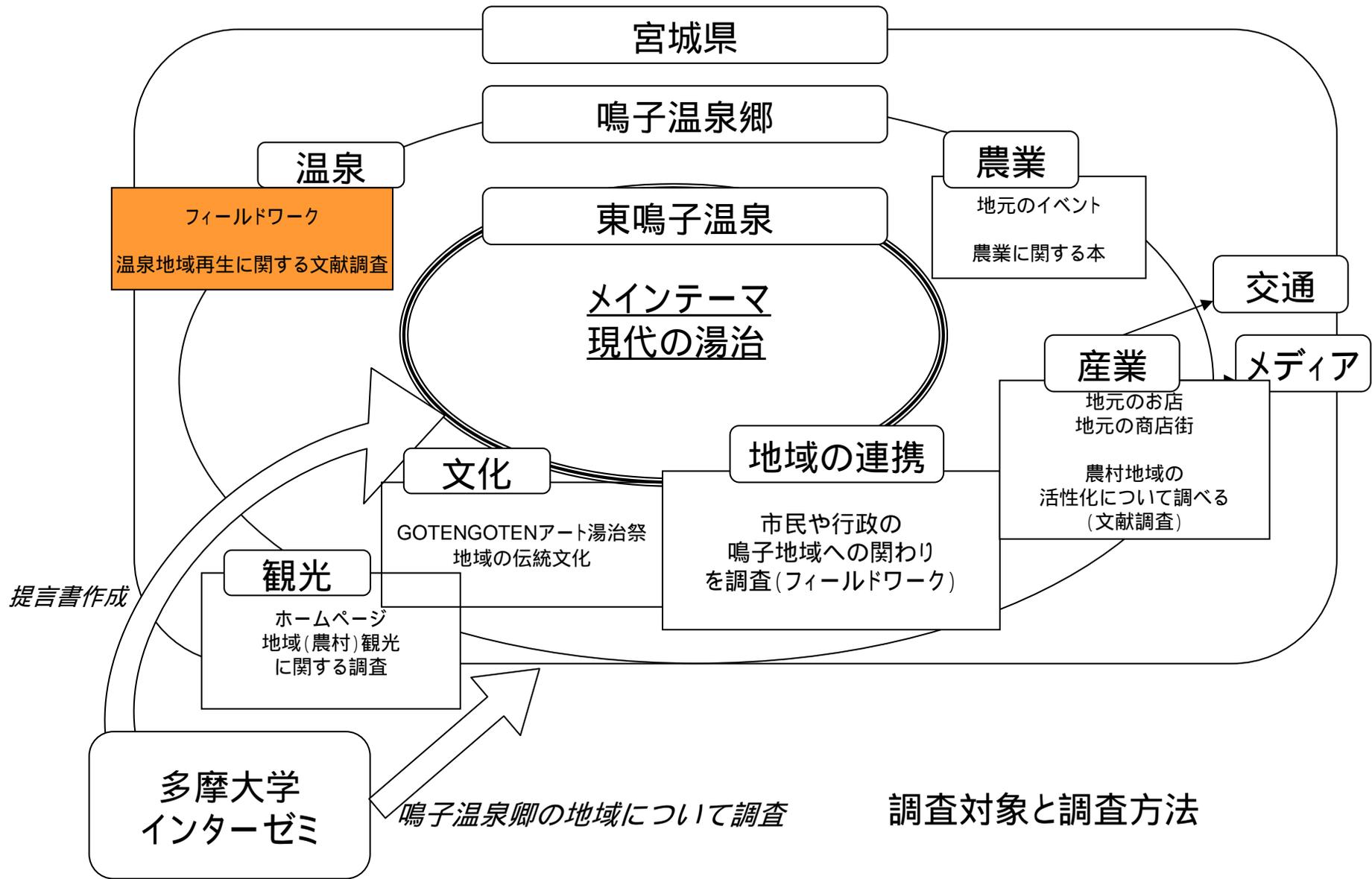


全体像





全体像





前回のまとめ

宮城県 大崎市 鳴子温泉郷

～ 開湯1100年、5つからなる温泉郷～



日本の源泉11種のうち9種ある

東日本の温泉の横綱

地域再生への取り組み

- 田んぼ湯治
農×食×湯治
- トライク選手権
温泉地から農地をのんびり散策
- 現代版湯治入門
湯治宿体験
- GOTEN GOTEN
アート祭り
湯治場×アート

(鳴子ツーリズム研究会)



鳴子温泉郷とは

宮城県大崎市にある温泉

鳴子温泉郷は、鳴子温泉、東鳴子温泉、川渡温泉、中山平温泉、
尾の神戸温泉と5つの温泉地域でなりたっている

日本にある天然温泉の泉質11種類のうち、9種類が鳴子温泉郷にある
奥州三大名湯のうちのひとつ

2007年、「旅の手帖」(交通新聞社)による「温泉番付」で「東の横綱」に認定された。

泉質がとても素晴らしく、比較的安価で楽しめる旅行地・慰安地として、
昔は栄えていたが、現在は客足が急激に落ち込んでいるという。

鳴子温泉郷

鳴子温泉

東鳴子温
泉

川渡温泉

中山平温
泉

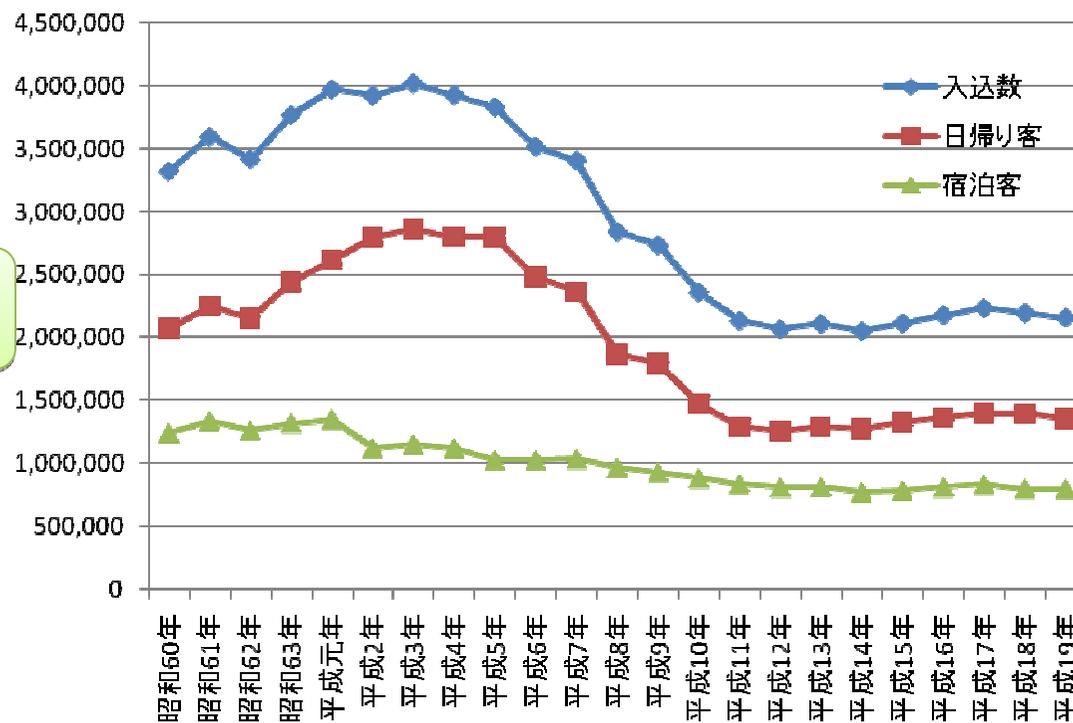
神戸温泉



背景 客足の減少

平成4年 入込数 約400万人
平成18年入込数 約220万人

10年前の約半分まで減少



原因

- ・景気の低迷
- ・鳴子温泉エリアは山間地域（アクセス悪）
- ・農家の高齢化や遊休農地が急速に増加

従来の市場流通中心の生産振興から新たな振興策が必要















フィールドワーク～東鳴子温泉～

東鳴子にある老舗、旅館大沼の湯守 大沼伸治さんにお話を伺った。

宮城鳴子の湯 旅館大沼 <http://www.ohnuma.co.jp/>

大沼さんは、東鳴子の地域おこしのリーダー的存在。



東鳴子温泉の実態

背景

- ・平成14年以降、ここ5年が客足が急激に落ち込んだ
- ・東鳴子の特徴である湯治客は全体の10%くらいで、ほとんどの方が1泊2食型。
- ・昔の客は、農業・漁業に携わる人々だったが、今は農家は大変なので、湯治にあまり来ない
- ・湯治の期間も短くなっている(昔:約1~2週間 現代:約3日間)
- ・今は泉質ではなく、食事・サービスが重視される風潮

東鳴子の関係図

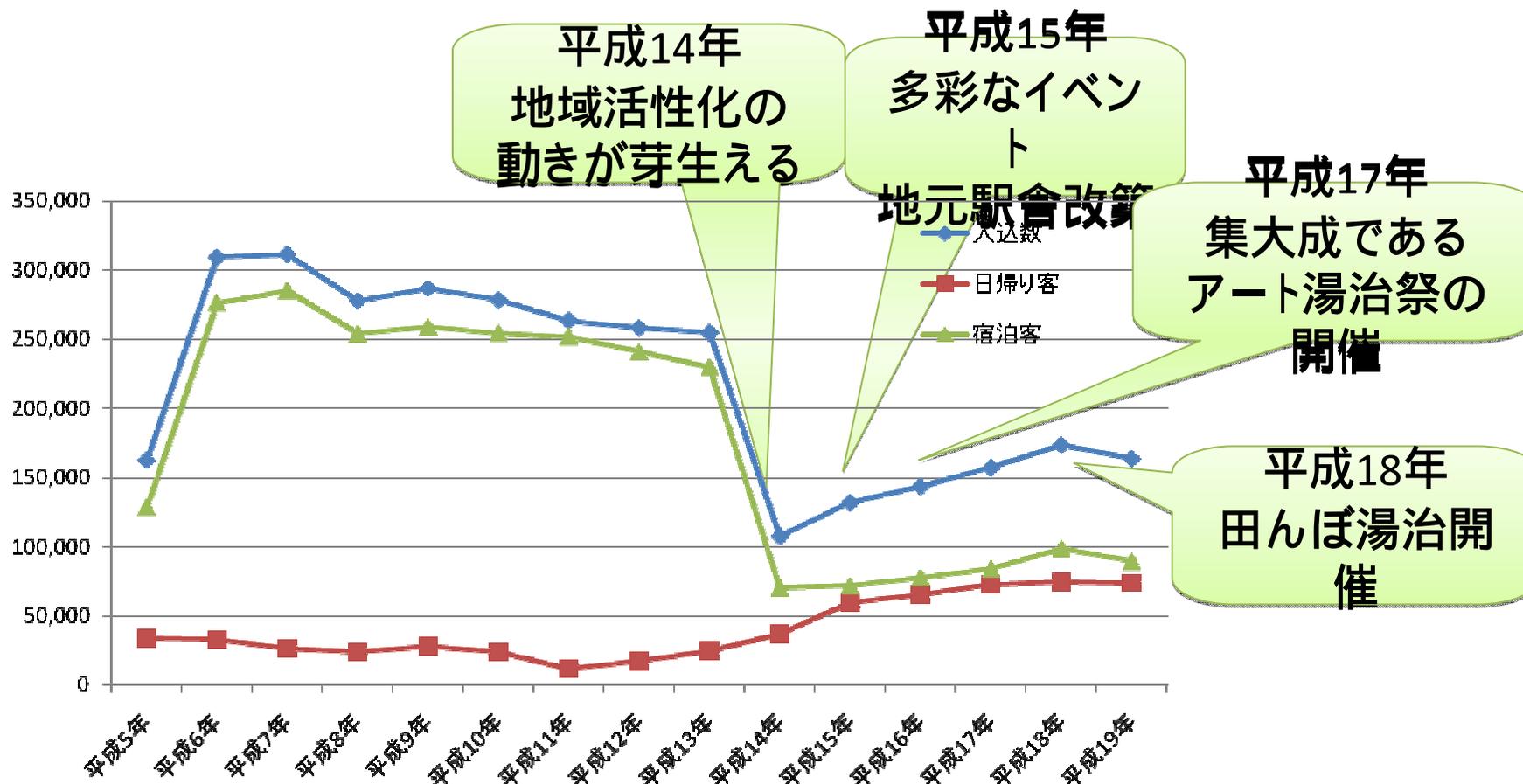


東鳴子は、PRキャンペーン以前に街として機能していない。

➡ 最近の東鳴子のキャンペーンは、皆で町おこしをしようという軸のもとで活動されている



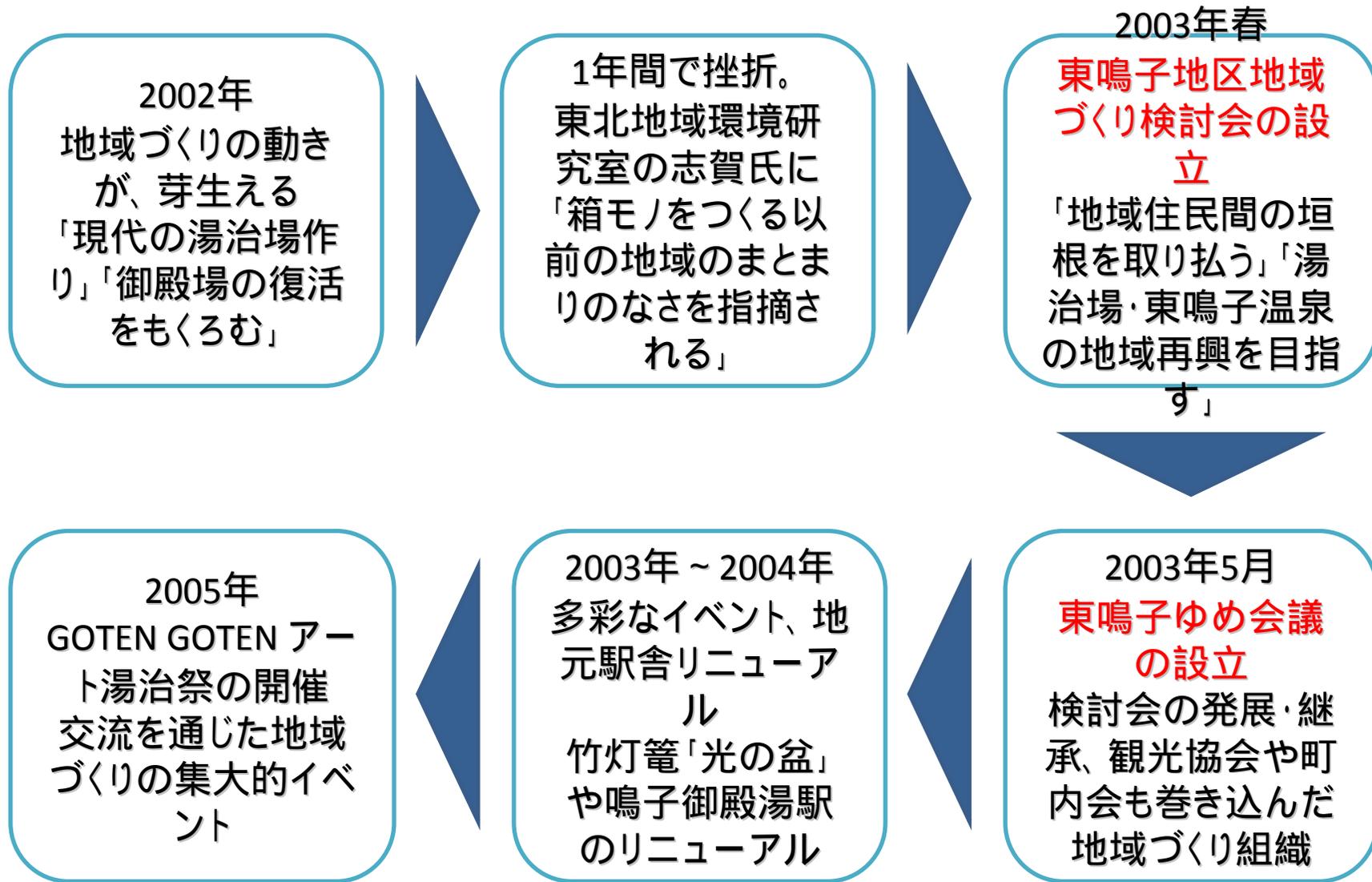
東鳴子温泉入込数の推移



様々な施策により、入込数は増加傾向にあるが、東鳴子が求める湯治客(宿泊客)は微増となるに留まっている



活動の経緯





活動の経緯 2





トライクツーリズム





フィールドワーク～鳴子温泉～

インタビュー： 鳴子温泉観光協会の宮本武さん

鳴子温泉郷観光協会 <http://www.naruko.gr.jp/>

Q 鳴子温泉の弱みは何か？

A 客単価の低さ

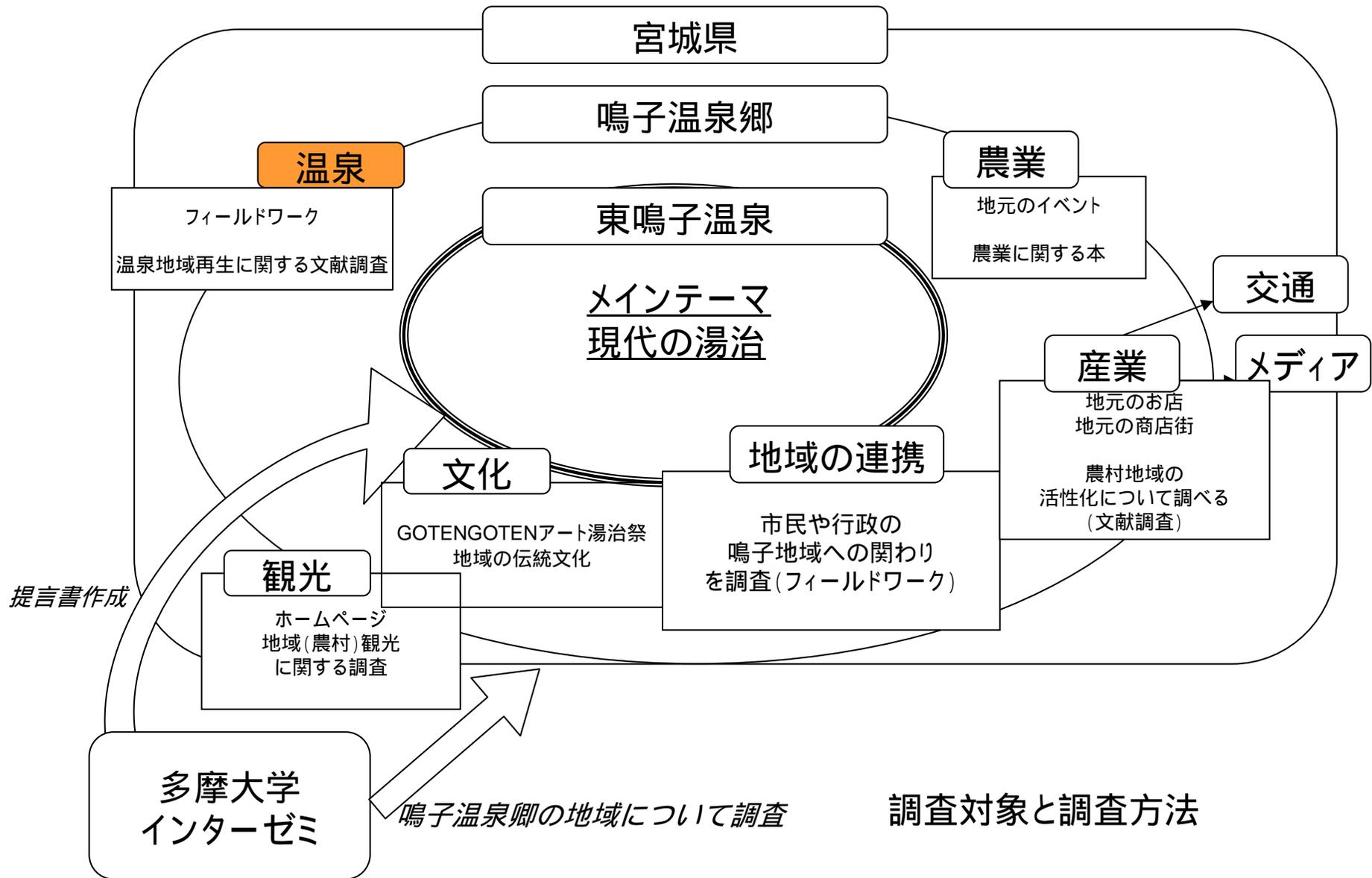
鳴子で作られている高級茶筒が鳴子のお店、
客には売れないため、鳴子では売らずに湯布院温泉で売っている

その他の 問題点

- ・大崎市は市町村合併したため、行政の事務所が多数あり、どこに決定権があるのかが分からない
- ・行政の指揮系統が混乱している
- ・県は補助金は渡すだけという実態
- ・鳴子の人口形態が変わっているのに、その施策がない
- ・街全体が短期的な利益に走ろうとしていて、長期的な展望を持っていない



全体像





鳴子温泉郷にある泉質

単純温泉

効能: 神経痛、リウマチ
骨折、外傷

宿: 姥の湯旅館

重碳酸涙腺(炭酸水素塩泉)

効能: けいれん、炎症、アレルギー性疾患、慢性疾患、じんましん

宿: 鳴子観光ホテル、姥の湯旅館、東川原湯旅館

重曹泉

効能: 皮膚病、火傷、創傷

宿: 姥の湯旅館、西多賀旅館、ホテル滝嶋、鳴子パールホテル、ホテル亀谷、鳴子旅館、旅館弁天閣、河畔の宿紫電峡、旅館すがわら

食塩泉(演歌物泉)

効能: 慢性関節ウマチ、腰痛、神経痛

宿: 吟の庄、ねりまこの宿ますや、鳴子ホテル、登良家旅館、姥の湯旅館、大正館、ホテル扇屋、ファミリーじすい岡崎荘、ホテル滝嶋、鳴子パールホテル、ホテル亀谷、旅館すがわら

硫酸塩泉

効能: 高血圧

宿: 吟の庄、ゆさや旅館、ねりまこの宿ますや、鳴子観光ホテル、登良家旅館、姥の湯旅館、東川原湯旅館、大正館、ファミリーじすい岡崎荘、西多賀旅館、東多賀の湯、ホテル滝嶋、滝の湯、

明ばん泉

効能: 慢性皮膚疾患

宿: 滝の湯、

緑ばん泉・炭酸塩線

効能: 慢性リウマチ、湿疹

宿: 登良家旅館、姥の湯旅館、大正館、ファミリーじすい岡崎荘、西多賀旅館、東多賀の湯、ホテル滝嶋、滝の湯、

硫黄泉・硫化水素泉(硫黄泉)

効能: 慢性リウマチ、気管支炎

宿: ゆさや旅館、ねりまこの宿ますや、鳴子観光ホテル、登良家旅館、姥の湯旅館、大正館、ファミリーじすい岡崎荘、西多賀旅館、東多賀の湯、ホテル滝嶋、滝の湯、

酸性泉

効能: 慢性皮膚病

宿: 吟の庄、滝の湯、



温泉の定義

松田忠徳 著
知るほどハマル！温泉の科学
技術評論社出版
より

温泉の定義

泉源で採取されたときの温度が
摂氏25度以上

下に上げる物質を一定量以上含む事

溶存物質(ガス性のものを除く) 総量1000mg以上

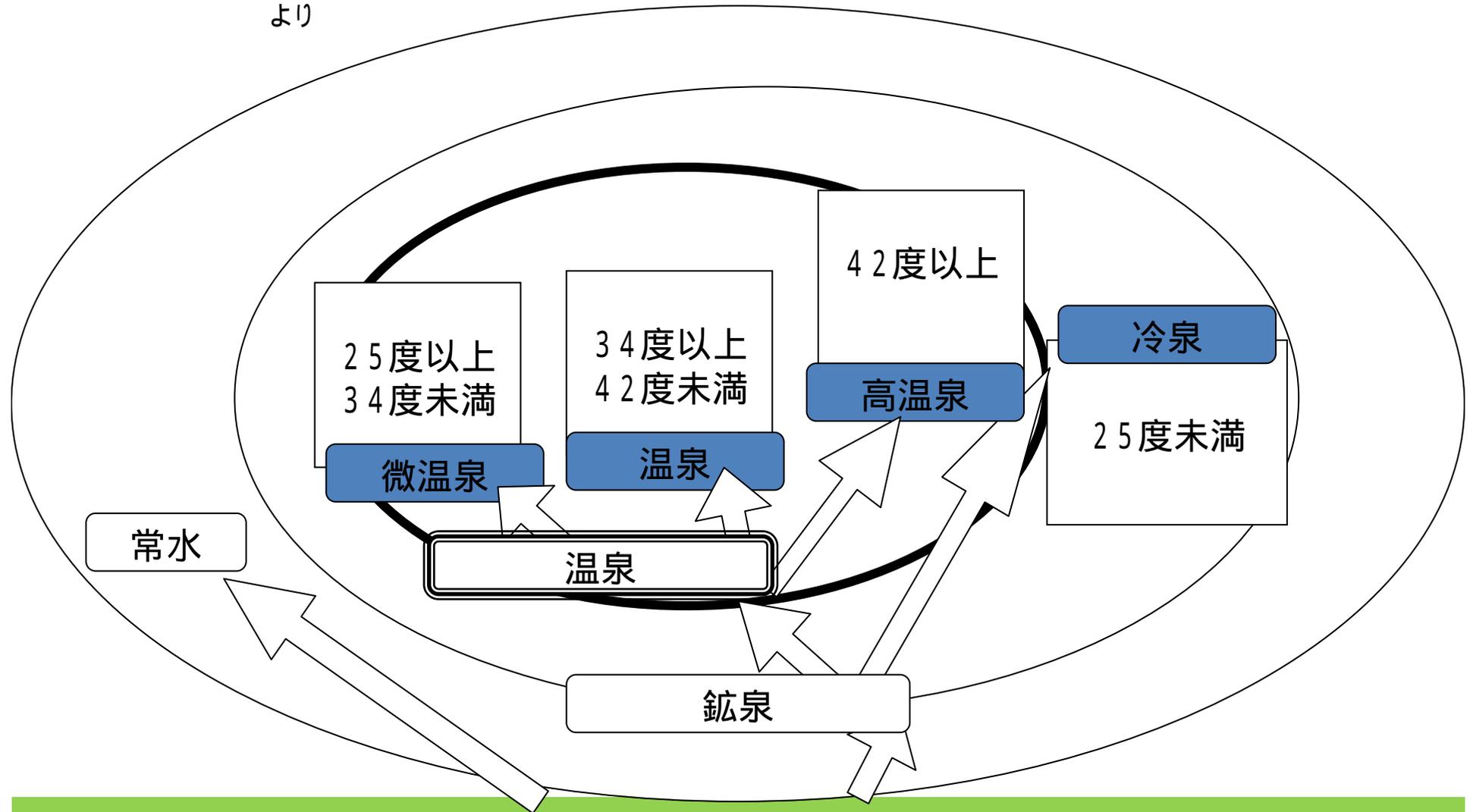
遊離炭酸(CO ₂)	250mg以上
リチウムイオン	1mg以上
ストロンチウムイオン	10mg以上
バリウムイオン	5mg以上
フェロ又はフェリイオン	10mg以上
第一マンガンイオン	10mg以上
水素イオン	1mg以上
臭素イオン	5mg以上
沃素イオン	1mg以上
ふっ素イオン	2mg以上
ヒドロヒ酸イオン	1.3mg以上
メタ亜ヒ酸イオン	1.3mg以上
総硫黄	1mg以上
メタほう酸	5mg以上
メタけい酸	50mg以上
重炭酸ソーダ	340mg以上
ラドン	20以上
ラジウム酸	1億分の1mg以上



温泉の種類

松田忠徳 著
知るほどハマル！温泉の科学
技術評論社出版
より

温泉の種類





温泉形成の過程

雨水が地面に浸透 深さ数1000メートルの多孔質岩層に溜まる

その岩層の下のマグマ黙りで760 ~ 1300 であたためられる

高温の水は低温の水より軽いから、どんどん地表に出て行く

地表に出て温泉は初めて酸化する。= 湧き出たばかりの
高温の温泉が良い

同じマグマ黙りで
暖められても
どんな岩層を浸透
してきたかで
温泉の成分が違う

基本的には高温泉が良い

成分がすぐれていれば
冷泉も良い



湯治とは

- ・江戸時代は、人々が温泉地に行く理由は湯治だった。
温泉と言えば湯治を指していた
- ・体温が1度違うと発症率は5～6倍
- ・湯治 1週間で体温が1度上がると言われている
- ・低体温がガンになる
- ・湯治の効果は半年もつ
昔の農家は年2回欠かさずに湯治に行っていた

湯治は予防医学である by 温泉博士 松田忠徳

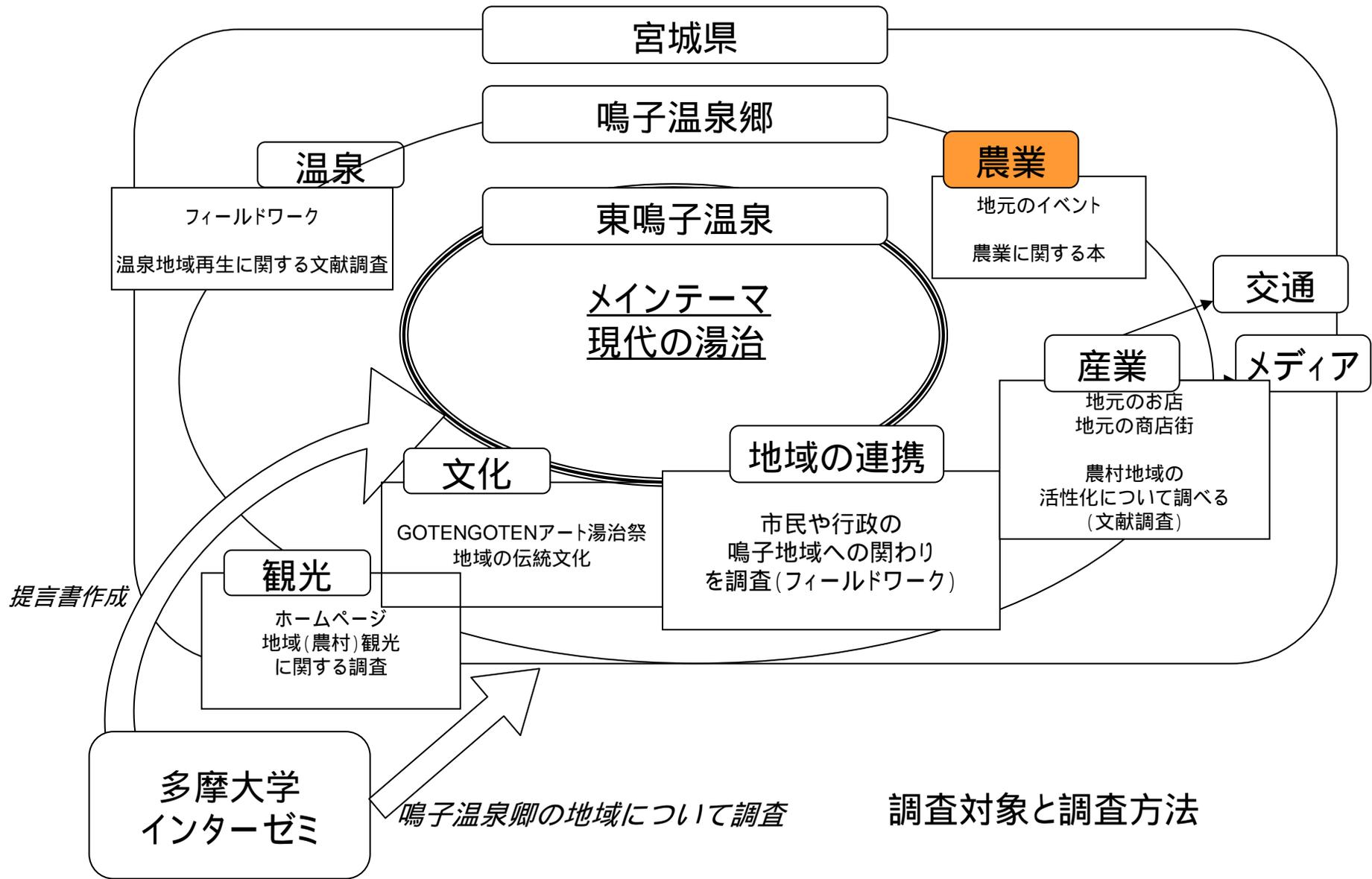
- ・西洋医学は体を治すが温泉は心と体を直す
- ・温泉は心の力を抜く
- ・湯治場では会話とコミュニケーションで心を開く
- ・シャワーは本来汚れを落とすもの
シャワーは冷え症の原因

参考 松田教授の温泉道

湯治は現代に適したものであるといえる



全体像





農業—食料自給率の「なぜ？」

末松広行

食料を安定的に供給するための基礎体力

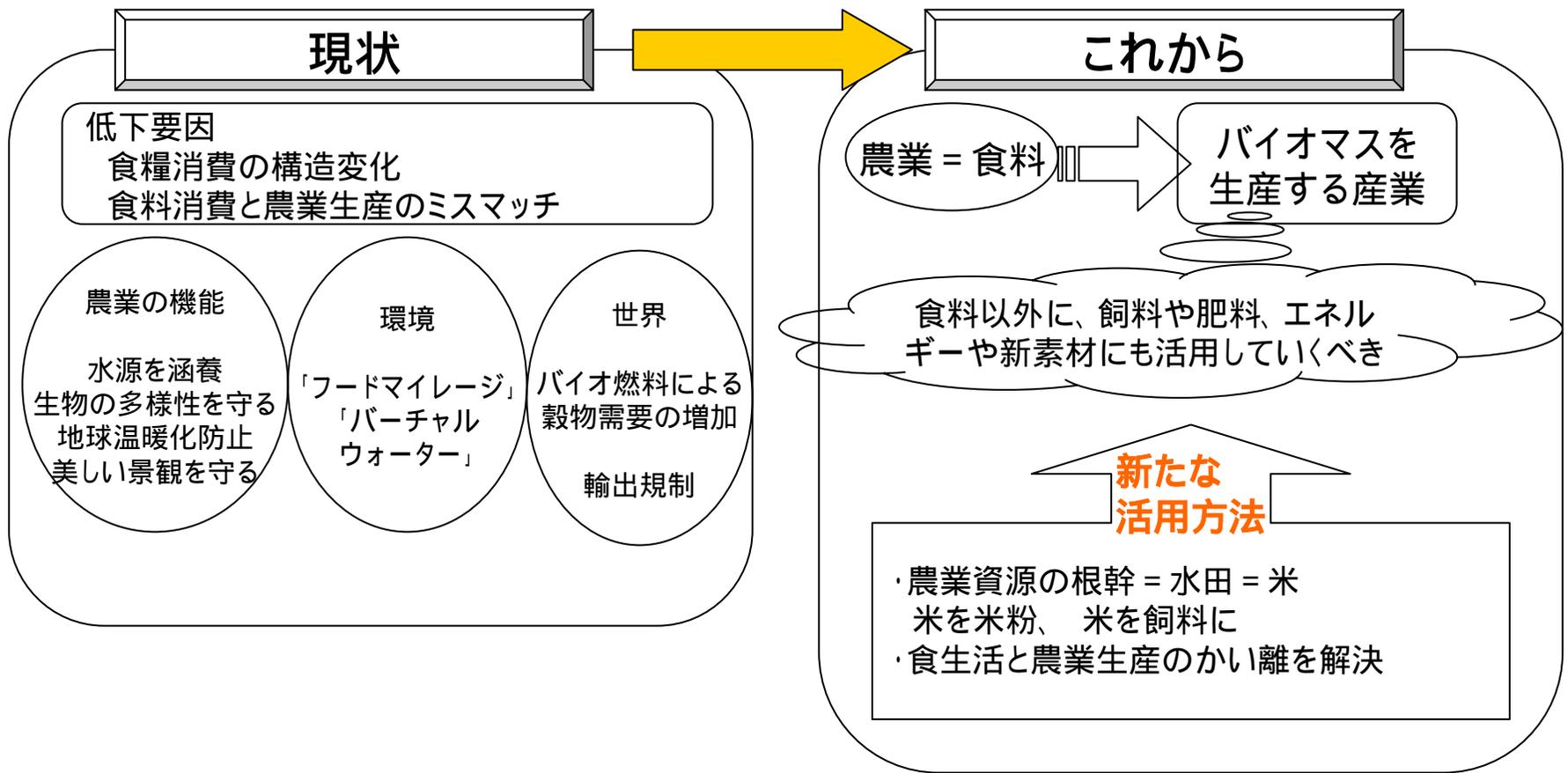
食料自給率 2008

日本	40%
(東京)	1%
宮城	80%

どしどし積みかさねて
日本という「身体」に本来備わっている力(農業資源)をじゅうぶんに活用して基礎体力(自給力)を高めること

イギリスがお手本になる?

1970年	46%
2003年	70% UP



🌀 鳴子地域の農業

水田農業

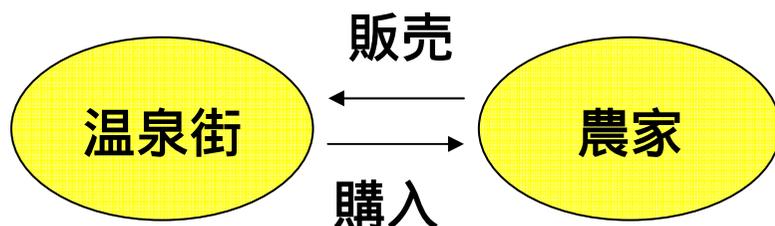
【鳴子町の水稲栽培面積】

平成7年 643ha 平成17年 444ha 31%減少

【耕作放棄地】

平成7年 21ha 平成17年 94ha 4.5倍増加

鳴子の米プロジェクト 平成18年スタート



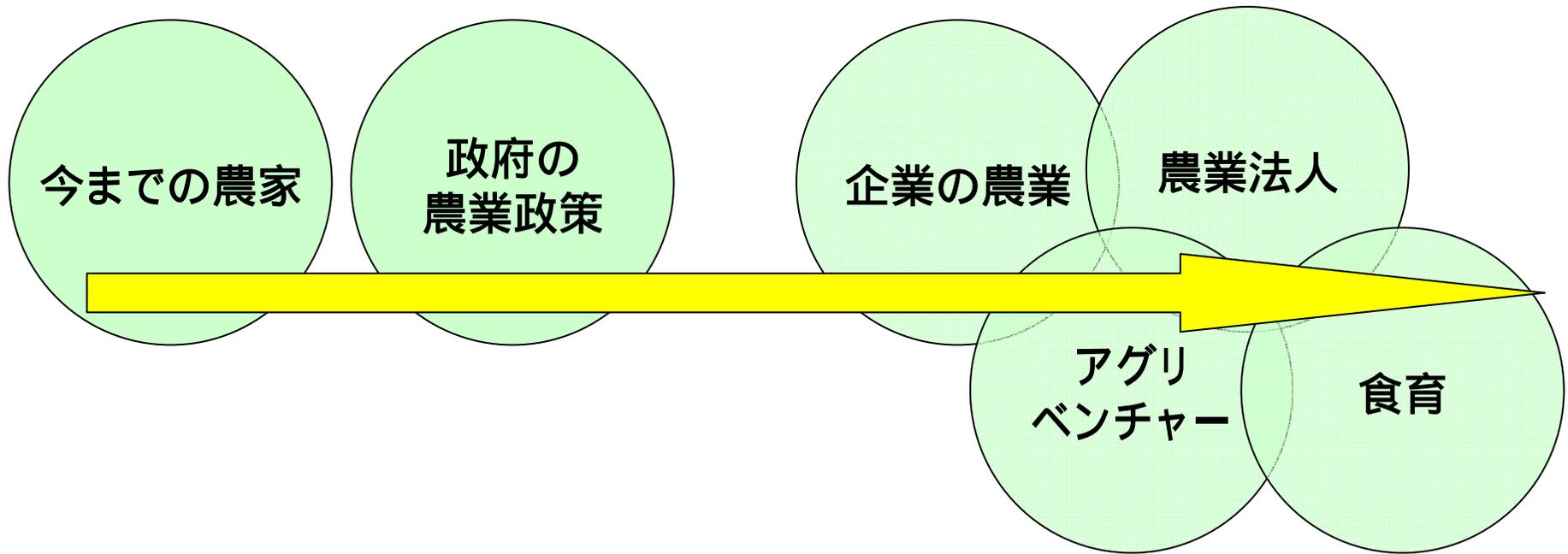
寒冷地向け 「ゆきむすび」(新品種)
「とぶろく」(自家栽培の原料米のお酒)

どぶろくは地域の食文化





今後の調査（農業の全体の動き）





文献一覧

- 1 渋谷往男(2009) 『戦略的農業経営』 日本経済新聞出版社
- 2 末松広行(2008) 『食糧自給質の「なぜ？」～どうして低いといきないのか?～』 扶桑社新書
- 3 鳴子温泉郷における湯治客の地域的特性
- 4 構造改革特別区域計画 大崎市
- 5 湯治と農山村の資源を活かした地域再生の取り組み～現代版湯治 鳴子スタイル～
- 6 鳴子温泉郷ツーリズム「鳴子スタイル」(宮城県大崎市)
- 7 温泉地の旅館経営における二つの方向性 <資本力>と<おもてなし>の複合因果に関する計量分析
- 8 事例 地域におけるものづくり支援機関のあり方に関する調査
- 9 事例 神奈川県森林地域振興調査事業
- 10 事例 大学の地域貢献を考える
- 11 事例 地域活性化における交通コミュニティ増加
- 12 事例 赤城村地域産業地場育成
- 13 事例 観光を軸とした地域観光産業育成
- 14 事例 地域メディアを通じた地域振興
- 15 松田忠徳(2004) 『これは温泉ではない』 光文社新書

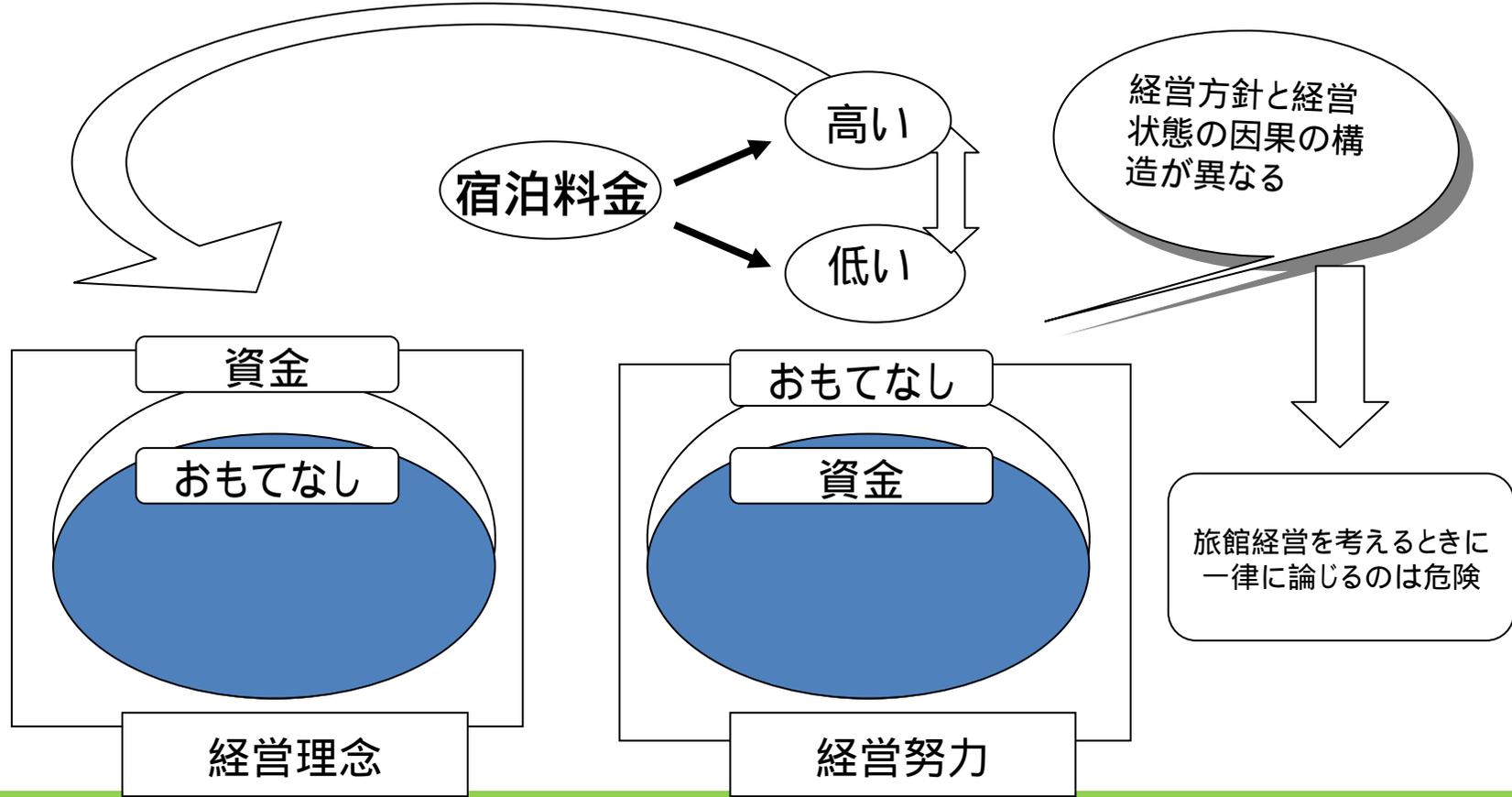


事例

温泉地の旅館経営における二つの方向性

地域活性化研究プロジェクトからの事例 山形大学 地域教育文化学部 金井雅之

温泉地の旅館経営における二つの方向性
- <資本力>と<おもてなし>の複合因果に関する計量分析 -





事例 温泉地の旅館経営における二つの方向性

行ったことのある
旅行の種類

行ってみたい
旅行の種類

2004年 10月～2005年9月

一位 温泉観光 20.9%
二位 周遊観光 19.2%

一位 温泉旅行 56.8%
二位 グルメ旅行 47.3%

温泉旅行は日本人にとって
特別の意味を持つのだが
昔から現在のように
なかったのではない

明治 大正
休養、保養目的
一般大衆対象

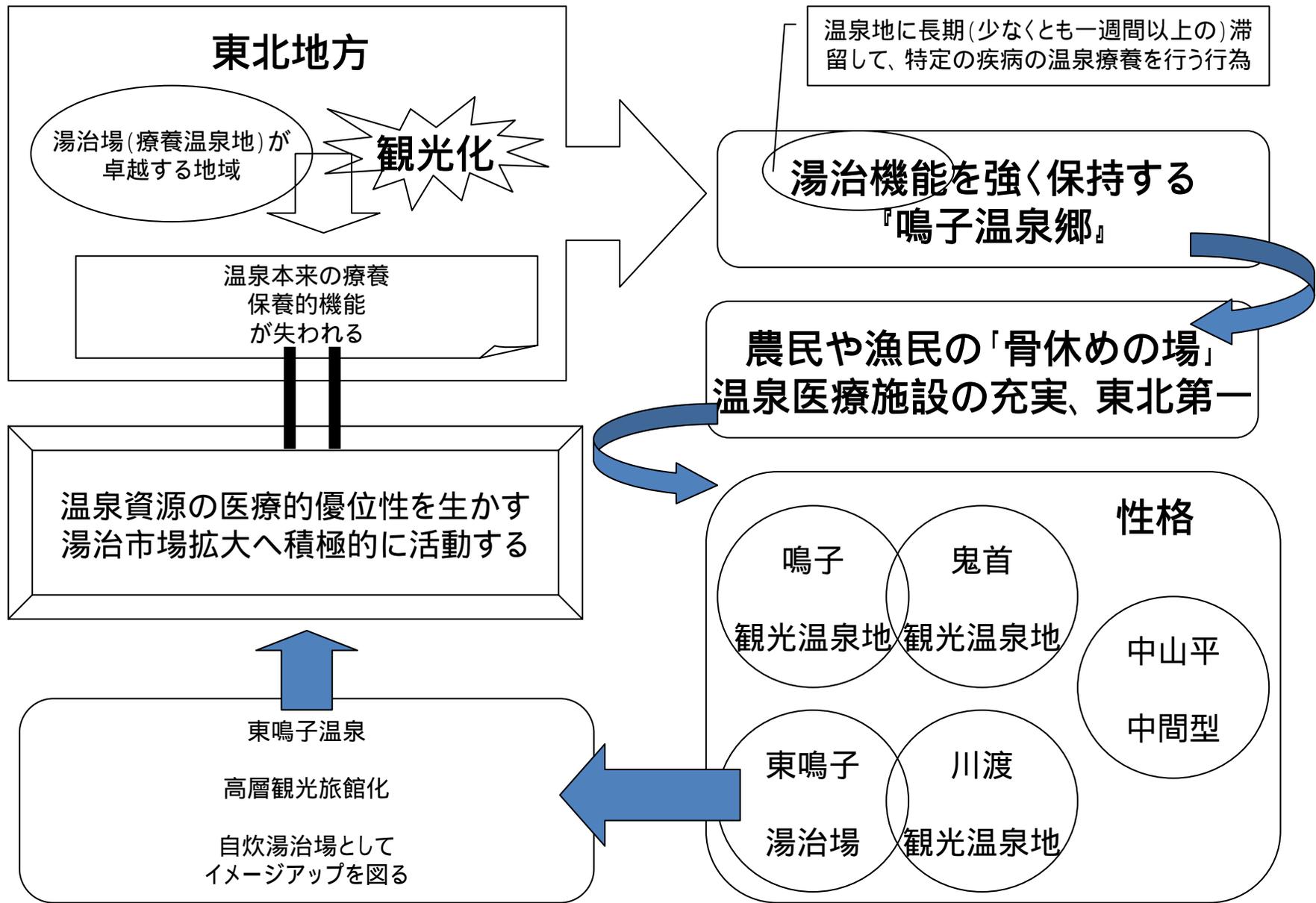
高度経済成長期 1970年代
慰安観光目的
企業が対象の大規模な旅館

バブル経済崩壊後
利用者の価値観の変化
秘湯の価値が高まる
女性がターゲット

江戸時代以降の温泉旅行が一般化した
転機が三回ある

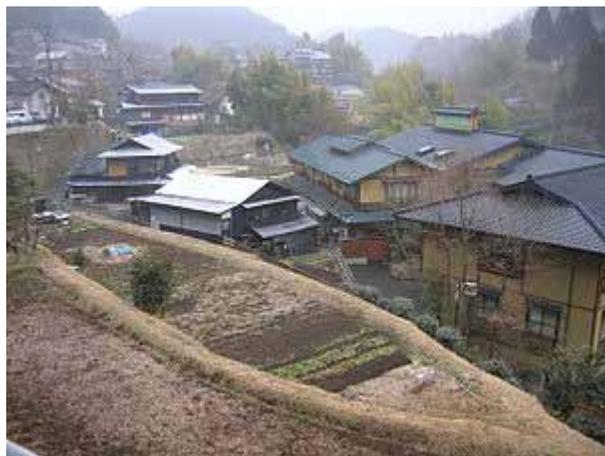


鳴子温泉郷における湯治客の地域的特性 山村順次





黒川温泉（熊本県）

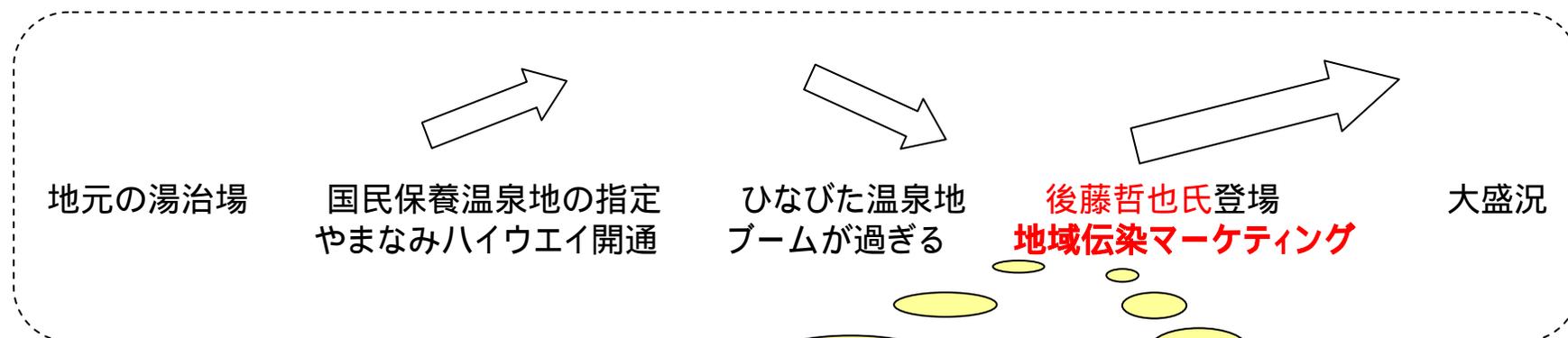


【場所】

熊本県阿蘇郡南小国町にある温泉

【特徴】

- ・温泉街にありがちな歡樂的要素や派手な看板を廃し、全体に統一的な町並みを形成するなど、意欲的なマーケティングを行っている。
- ・リピーターが多い
- ・インターネットで、知る人には知る名湯 と評価
- ・有名になったのは、2000年以降である。



「都会とはまったく違う自然の風景がなければ、
本物志向の客をつかめない」
洞窟風呂や一人露天風呂を演出
日本庭園ではなく、野の山を再現

地域住民の徹底した
マーケティングの努力
成功ノウハウを
温泉町の住民皆で活用



野沢温泉（長野県）



【場所】

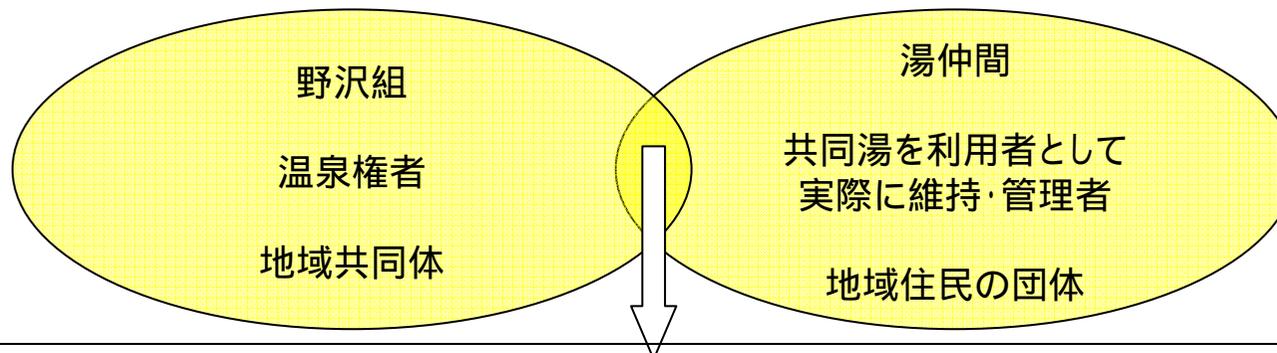
長野県下高井郡野沢温泉村(旧信濃国)にある温泉。

【特徴】

- ・野沢温泉の特徴として、13軒ある共同浴場があげられる。
これは地元の湯仲間という組織によって
維持管理運営されているが、観光客にも開放されおり、
無料または寸志で入浴できる。

温泉と自治活動という両者が一体となった温泉コミュニティ

～温泉権と利用権を分け、それぞれを管理する組織・制度も分けることで温泉を守ってきた珍しいケース～

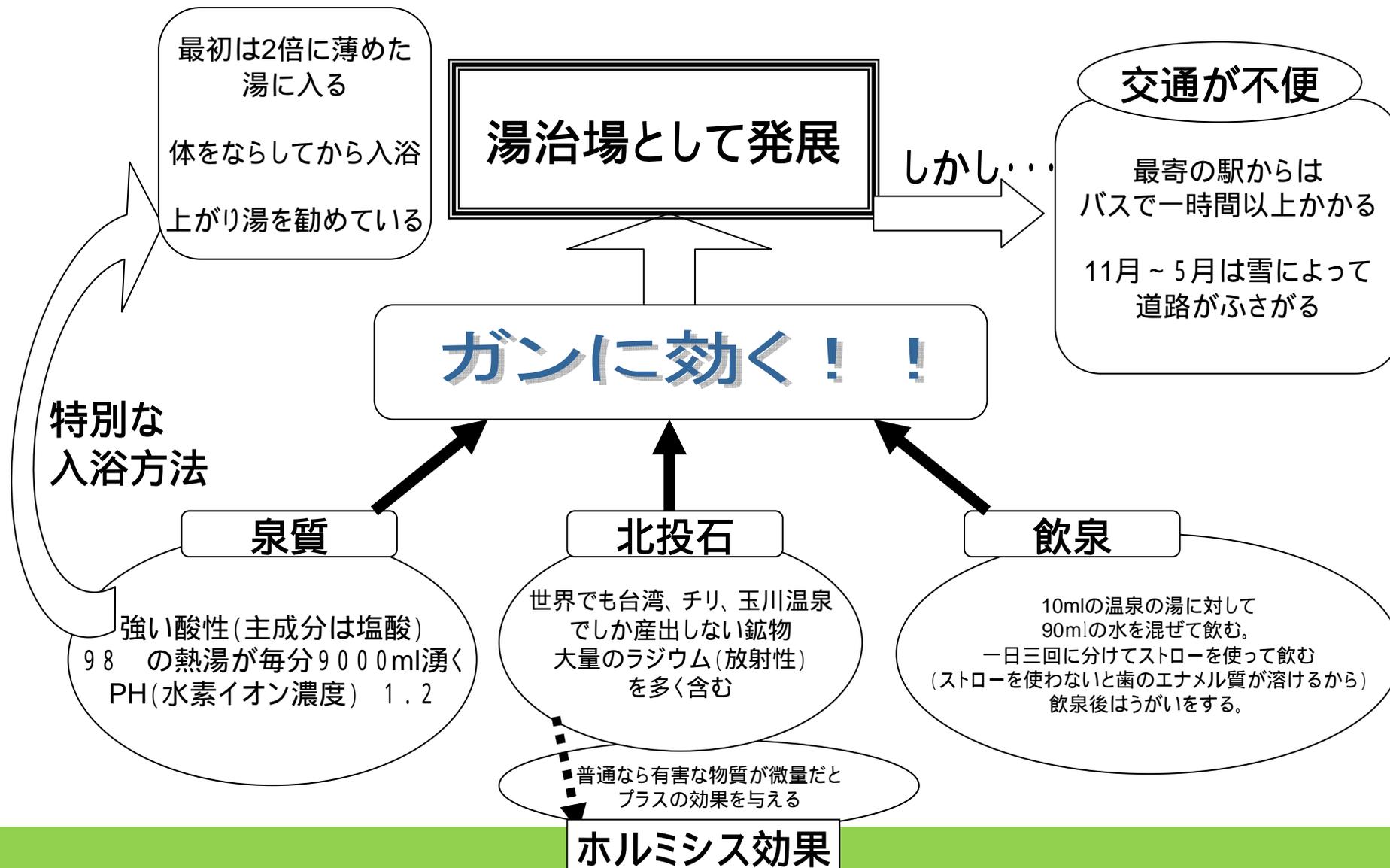


「総有」

温泉は村のものであり、村に住んでいれば利用する権利が生まれるという温泉所有の仕方
野沢の温泉は「生活の湯」。生活の場と温泉が共存。

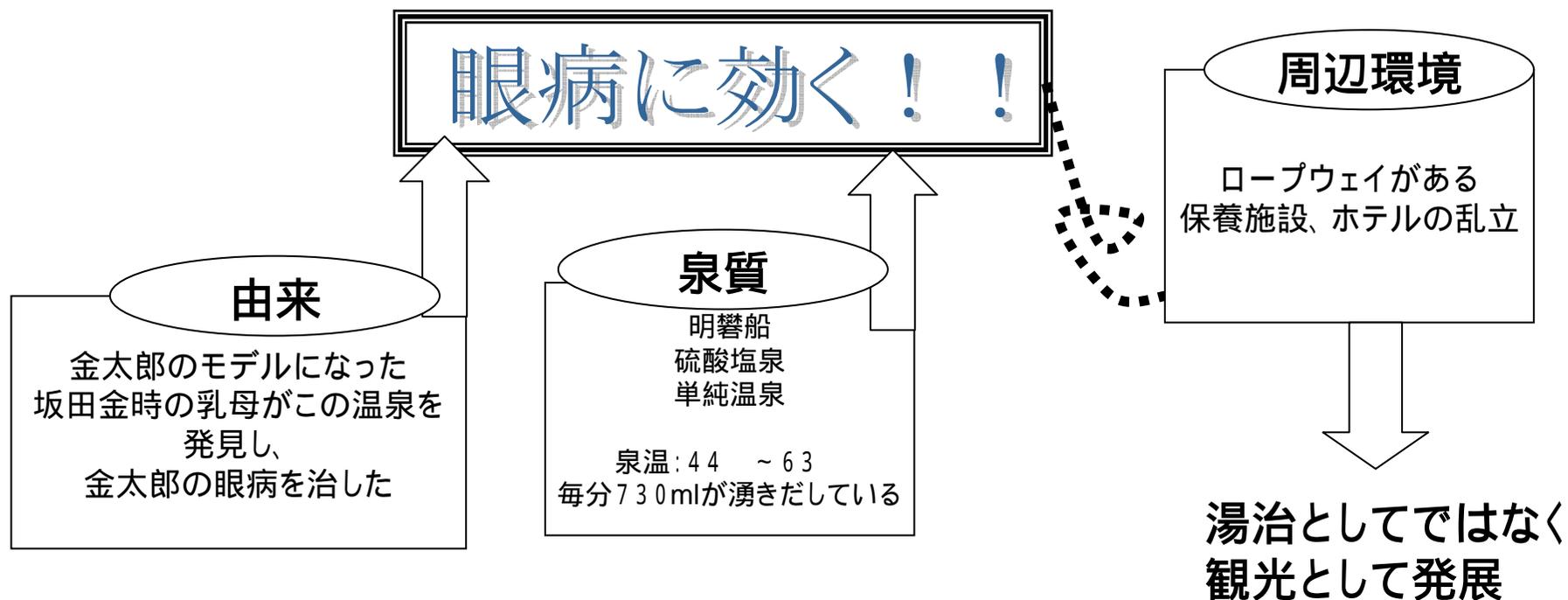


秋田県・玉川温泉について





神奈川県・姥子温泉について





地域活性化例 ~ 鬼怒川温泉 ~

失敗例

栃木県 日光市 鬼怒川温泉



失敗点と言われている点
 団体客をターゲットとした大型宿泊施設が
 ほとんどで、周辺地域の魅力が失われているという点。(失敗例として、別府温泉)
 その後、医療観光で活性化

各旅館・ホテルが
 問題意識を共有で
 きなかった

地域戦略が
 不可能な状態

大型旅館化による
 顧客への配慮の欠
 如

個人ニーズへの
 対応ができず

鬼怒川温泉の特徴を活かした地域復興には、
 個人ニーズへの対応の必要性、地域戦略の必要性がある



地域活性化例 ~ 由布院温泉 ~

成功例

大分県 由布市 由布院温泉



成功点と言われている点
 地域全体での町おこし。町ぐるみで映画祭、音楽祭を開催している。町づくりの過程そのものをメディアに取り上げさせる。
 徹底的な観光客の排除、環境への配慮、温泉地として確立

バブル期の
 大型開発計画に反対。
 適正な規模や景観を守る

リゾート法の
 制定など

個人のニーズに
 対応できる

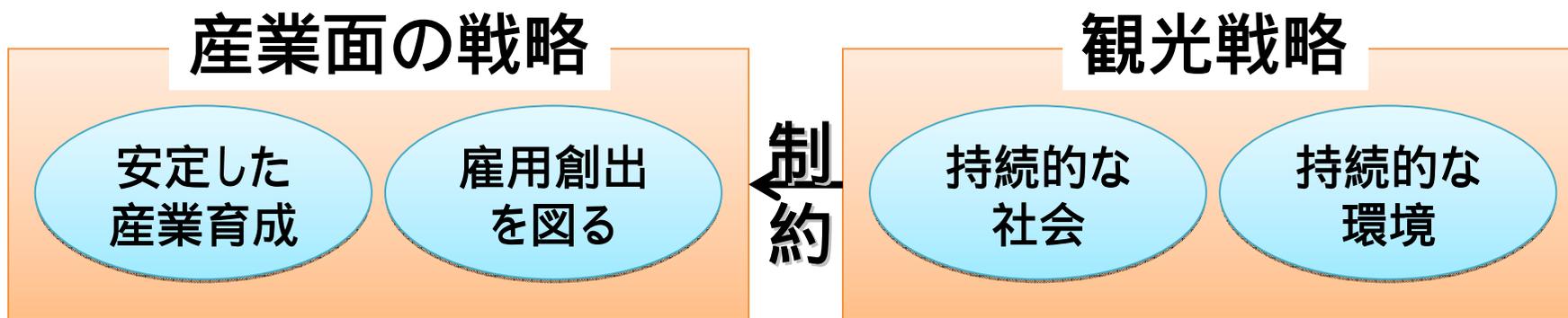
昔からある街の特色を
 そのままにすることで、
 住民の愛着心を醸成

地域一体として
 観光客をもてなす

街の景観や規模を徹底的に守ることで、
 地域一体となって観光客を歓迎する雰囲気を作り出す



全国各地の地域活性化より見えてきたもの



**観光客を地域内でしっかり受け止める。
地域全体として発生するおもてなしの心**

観光客を地域内でしっかり受け止め、
産業面の戦略とそれを制約する社会・環境と調和させた持続的
な観光戦略が地域活性化には必要不可欠である



フィールドワーク予定

9月13～16日 宮城県東鳴子温泉

やること

東鳴子

- ・プチ湯治体験(3泊4日)
- ・農体験
- ・住民の声を聞く

鳴子地域

- ・他温泉地域の視察
- ・各地域活性化所へ行く

仙台市

- ・宮城大学 宮原育子ゼミと交流
- ・宮城大学&東北大学 地域活性化ゼミと交流
- ・元鳴子支所所長 我妻さんにお話を伺う



今後の課題

・湯治場のトップクラスと言われている所の調査

東では山形県の肘折温泉、西では山口県の俵山温泉

・温泉地で成功している所の調査

大分県の湯布院温泉

・農業調査

「東鳴子温泉」と「農業・食の結びつき」



スケジュール

